



# 稲田小だより

令和5年度学校だよりNo.7 令和5年10月号

保護者配付



10月14日、稲田小周辺を会場に「稲田むすぶフェスティバル」が開催されました。

昨年度来、創立150周年とタイアップして企画されたイベントです。フィナーレの花火は見事でした。

## “子どもたちの心に残る体験”は未来へ繋がる原体験

校長 茂木 徹

稲田小学校は、昨年度創立150周年を迎えました。多くの皆さんのお力と支援により、未来に向けた新たな歩みを繋げていくことができました。改めて感謝の気持ちで一杯です。あれから1年。折しも、11/1は創立記念日に当たります。子どもたちとともに、これまでの歴史や未来に向かって歩む稲田小について考えてまいります。

さて、昨年、稲田小創立150周年に合わせて保護者・地域の方主体の“稲田むすぶプロジェクト”がスタートしました。今年は、10/14(土)に「稲田むすぶフェスティバル」として開催されました。昨年を上回るお客さんがおいでになりました。中には学区外からもおいでになるなど大盛況でした。午前に始まった、地区青少協イベントのスポーツ体験、昼前からは、遊びコーナーや飲食ブース、稲田太鼓やチアの演技など楽しい企画がたくさんありました。また、夜には、スカイランタン浮揚や河川敷で上がる花火などワクワクする体験が一杯の楽しいフェスティバルだったと思います。

私は、このような素敵な活動に出会ったり、実際に楽しんだりする経験はとても大切なことだと思っています。それは、大人になった私たちの記憶や思い出の中に、子ども時代に体験した活動がしっかりと残り、今でも鮮明によみがえってくるからです。特に、お祭りや旅行、習い事、家族や親戚との楽しい思い出などの体験は、ついこの前のように思い出せるのではないのでしょうか？「楽しかったな～。おいしかったな～。」など、当時の子どもたちの心に刻まれた思いは、私たちの原体験になっているはずです。そして、大人になった今も、追体験したり、自分の子どもにも経験させたりしたくないのでしょうか。

だからこそ、心に残る様々な体験をさせてあげることは、子どもたちの心の豊かさを育み、未来に繋がる大切な基盤になると考えます。是非とも、子どもたちの心に残る体験を大事にしていただければ幸いです。ご多用の中、フェスティバルの準備・運営に携わってくださった全ての皆さんに心から感謝申し上げます。







## 上越市小学校親善陸上競技大会

## “稲田ほっこ”大活躍

### 6年生全員の気持ちと頑張りが大成果に！

10月4日久しぶりに観客を迎えての陸上大会が行われました。選手のみで参加する学校がほとんどの中、稲田小学校は6年生全員で参加しました。選手・応援児童が力を合わせ素晴らしい成績を残しました。

【稲田ほっこ】よく言えば積極的だが、鼻っぺしが強く勇み肌的なところがある。少々おっちょこちょいだがお人好し。愛すべき人間像の総称。  
(「稲田小百年のあゆみ」より)

50回目を迎えた今年の記念大会。稲田小学校は8つの種目の内7つの種目で入賞者を出しました！往年の“稲田ほっこ”を彷彿させる大活躍でした。



全力で競技に取り組む子どもたち      リレー男女 3位以内入賞

### 【大会結果（8位までが入賞）】

男子 100m : 1位 (13秒05)    女子 100m : 4位 (14秒67)

女子 800m : 3位 (2分44秒49)

男子 4×100mリレー 3位 (55秒27)

女子 4×100mリレー 2位 (57秒93)

男子走り幅跳び : 6位 (411cm)

女子走り幅跳び : 3位 (378cm)    7位 (345cm)

### 5年生を中心に6年生を盛り上げた壮行会！



5年生有志の応援リーダーによる 全校児童の応援

親善陸上大会で6年生が好成績を収めた背景には、前日に行った壮行会も一役買っていると思います。5年生有志で結成した応援団が全校児童をリードし熱い声援を送りました。





## 不審者対応避難訓練及び引き渡し訓練を実施しました！

### 「校内に不審者が…その後逃走…保護者にお迎えを」(10/10)



上越市内でも、6月に市民の皆さんが心配になるような事件がありました。その際、犯人の行方が分からず、現場付近の学校だけでなく、広範囲に渡って、臨時休校になるという事案がありました。テレビや新聞で見聞きしたことが近くで起こりました。まさに、自分事として対応しなければならないことを実感しました。



そこで、そのような不審者事案だけでなく、地震などの自然災害の場合でも、子どもたちを保護者の皆さんに確実に引き渡すための訓練を行いました。

子どもたちは、校内放送を聞き、教室入口に机やいすでバリケードを築き、廊下から見えないように小さくなって集まり静かに待ちました。その後、不審者が校外に逃走したという設定で、保護者による迎えをお願いし、体育館で引き渡すまでの訓練を行いました。



1年生は、10月から生活科の学習で生きもの(動物)を育てる活動に取り組んでいます。今年は、モルモットとウサギを育てることになりました。

#### 1年生 生きものとなかよし～もるちゃん・うさぎさん～



アサガオを育てる活動が一段落した9月末。今度は生きものを育てることについて話し合う1年生の姿がありました。話し合いの結果、モルモットとウサギを飼うことになりました。しかし、学校で動物を飼ってもいいのか分かりません。そこで、代表児童4人が、校長先生をお願いに行くことになり、緊張しながらも校長室のドアをノックして、「生き物を飼ってもいいですか？お願いします。」と1年生全員の思いを伝えました。その姿は大変立派でした。「優しく責任をもって育てられますか？」と問われた代表児童は、「はい！みんなでがんばります！」と決意を述べました。

そして10/12(木)16(月)にモルモットとウサギを迎える入学式を開きました。



10/12 もるちゃん入学式



いきものを笑顔で迎える子どもたち

#### 1年生の振り返りから

- 今日、ウサギさんの入学式がありました。私は、ウサギさんがかわいいと思いました。色は茶色と白でした。ウサギさんは緊張してぶるぶるふるえていました。ウサギさんと思い出を作りたいと思いました。ウサギさんを貸してくれた塩崎さんが、寒くなったら、ウサギさんを迎えにきます。だからウサギさんのことをいろいろ知りたいです。元気でいてほしいです。お迎えに来る時まで一緒にいろいろ思い出を作りたいです。(1年)







## 学校内・外で充実した活動が広がっています！

### “超 盛り上がり”パフォーマンス大会（児童 総務委員会 企画）



3年生ダンスでオープニング

10/12（木）昼休み、児童 総務委員会による「みんなで楽しく盛り上がり！」の呼びかけのもと、8組のパフォーマーたちが出演したパフォーマンス大会が行われました。初めての企画にも関わらず、2年生以上の有志のグループが素晴らしいパフォーマンスを披露し、会場は大盛り

上がりでした。職員も出演し子どもも大人もとにかく「楽しい！」時間でした。

#### 【主な演目】

ダンス、漫才的な掛け合い、楽器演奏、早業ルービックキューブ、スポーツ演武等



### 6年生 PTC 親子でヨガ体験（10/13）



親子でタオルをリレー！

10/13（金）、6年生のPTC活動は「ヨガインストラクター よっち」さんを講師に、親子で体も心も穏やかに、柔らかくなる体験活動を行いました。高学年になると、親子で一緒に何かをする機会も少なくなっていくます。そのような中、親も子もヨガを通して心地よい汗を流していました。



こころを落ち着かせてリラックス

### “大盛況”稲田むすぶフェスティバル（10/14）

昨年度、稲田小学校が創立150周年を迎えたことやコロナ禍で薄れてきた稲田地区の絆を深めることを目的に、保護者・地域の有志の皆さんで活動を始めたのが「稲田むすぶプロジェクト」です。今年は、さらにその輪を広げるべく、10/14（土）に稲田むすぶフェスティバルが開催されました。そして、多くの人が集い楽しい時間を共有していました。昨年に引き続き打ち上げられたフィナーレの花火は、今年も私たちの心に届く素晴らしい光を灯してくれました！



迫力ある「稲田太鼓」の演奏



夜空に上がったスカイランタン



フェスを楽しむ子どもたち

